

観光需要の早期回復に向けた緊急対策について

～ 観光振興緊急対策方針 ～

長野県観光部

○ 現 状

- ・台風 19 号災害によるキャンセル被害については、未だ取り戻せない地域がある。(スキー客で回復できなかった地域、スキー場がない地域)
- ・雪不足の状況は年末から回復せず、一部のスキー場においては一時閉鎖となっている。
- ・新型コロナウイルスで中国人団体旅行客が減少し、宿泊キャンセルが発生し、スキー場など観光地にも影響が及んでいる。
- ・令和元年 11 月から、落ち込んだ観光需要を早期に回復するため、「がんばろう信州！観光キャンペーン」を展開してきたが、観光地は依然として厳しい状況が続いている。

〔キャンペーンの主な取組〕

- ① 国内外の旅行者を対象とした旅行・宿泊商品に対する支援を行う「ふっこう割」を実施
新型コロナウイルスの影響でキャンセルとなった訪日旅行者分を国内向けに再配分して販売（～3月中旬）
- ② 「観光復興に向けた地域協働事業」14 事業への支援
- ③ 大都市圏や県内でのイベントや情報発信

○ 緊急対策事業方針

- ・「がんばろう信州！観光キャンペーン」の取組を踏まえながら、県内観光地の早期の需要回復につなげる。
- ・みんなで需要回復や復興に取り組むため、「ONE NAGANO」を合言葉に、JR・F D A など交通事業者や、旅行会社、市長会、町村会へ参加を呼びかけて実施していく。

○ 実施内容

1 観光振興緊急対策事業の実施【予算額（案）100,000 千円】

(拡) ① 広域型地域協働事業(地域の課題に応じた緊急対策事業への助成)

(新) ② インバウンド宿泊助成事業

③ 交通事業者・旅行会社等との協働による集中誘客事業
(ポイント)

- ・地域の関係者と県・県観光機構が協働して企画・実施
- ・早期の需要回復が見込まれる取り組みや「ONE NAGANO」と連携した取り組みを優先支援

2 他の団体との協働事業

- ・交通事業者や大手旅行会社による集中誘客の取組、プロモーション、イベント
- ・大手旅行会社による海外提携会社を通じた広告（インバウンド）
- ・経済団体との連携

3 県の来年度事業のうち、春に前倒しして取り組む事業

(ポイント)

- ・春から夏の豊富なコンテンツを活用
- ・宿泊事業者、交通事業者、みやげ事業者などの県内観光事業者と協力し、広域的な誘客事業を展開

(内 容)

- ・東京都内ホテルコンシェルジュの招請による長野県への誘導
- ・定期観光バスへの支援を夏までに運行するルートへ優先配分
- ・宿泊プランを春に重点販売（GWの反動防止）
- ・ターゲティング広告を春から夏に重点実施（「G o NAGANO」へ誘導）

観光振興緊急対策事業

1 長野県観光が直面する課題

- ①台風19号災害からの復興（令和元年10月の延宿泊者数 前年比△269,960人泊 △17.1%）
- ②気候変動に伴う雪不足への対応（年末年始の主なスキー場利用者数 前年比△60千人 △7.5%）
- ③新型コロナウイルスによる中国の団体旅行禁止の影響（中国人観光客のキャンセル等）

2 事業の目的

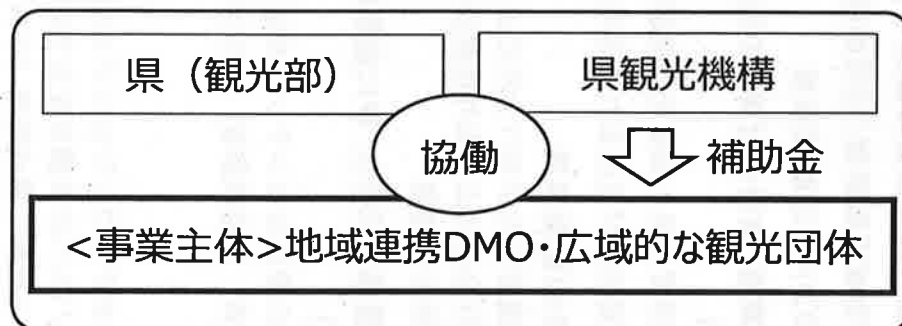
宿泊キャンセルの早急なリカバリーと観光需要の喚起

～「ONE NAGANO」を合言葉に関係者が連携して即効性のある取組みを展開～

3 実施のスキーム

（1）広域型地域協働事業

県・県観光機構と地域の観光関係者が協働して広域的に実施する地域の課題に応じた緊急対策事業に助成



・広域的に実施する観光需要回復のための事業に対する補助事業（補助率2/3以内）

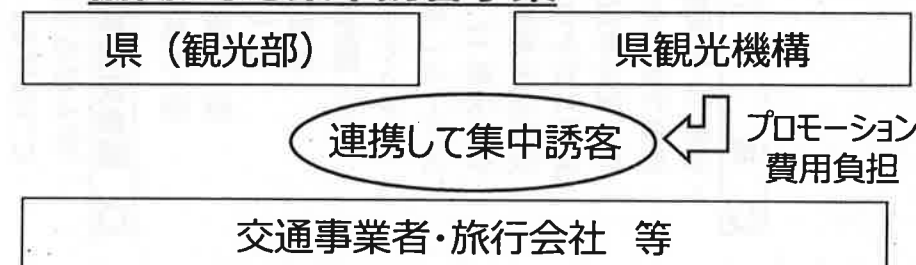
（2）インバウンド宿泊助成事業

訪日外国人旅行者を対象とした宿泊助成

- ・助成対象 旅行会社、OTA
- ・割引金額 1人1泊当たり5,000円



（3）交通事業者・旅行会社等との協働による集中誘客事業



4 予算額（案）

100,000千円（一般財源）